

ふれあい月間

東京都では、6月を「ふれあい月間」と指定しています。6月1日から30日までの1か月間を利用して、各学校でも次のことを目的として取り組んでいます。スクールカウンセラーによる1年生全員面接もその一つの取組みです。また、大田区では生徒を対象とした生活調査を行い、生徒の悩みや困っていることを早く知り、解決するようにしています。

☆「ふれあい月間」の目的 ☆

各学校におけるいじめ、自殺、不登校、暴力行為等の問題行動未然防止やその対応にかかわる取組みの充実を図るため、次の2点を目的としています。

- 各学校が問題行動への取組状況の総点検を行い、現状や効果等を把握する。
- 各学校が問題行動の早期発見・対応・未然防止等につながる具体的取組を実施する。

本校でも今月から7月にかけて、次のような取組を行っています。

※ 学級・学年では

- 毎日の出席確認のときに、生徒の表情を観察する。
- 学級の生徒に、1日1回以上個別に声をかける。
- 服装、持ち物、身体の様子、掲示、机の落書き等を点検する。
- 個人面談を実施する。→ 三者面談は夏休みに実施予定です。
- スクールカウンセラーと情報共有し、いじめ・不登校等の予防対応を行う。



※ 学校全体では

- 朝礼の校長講話で「ふれあい月間」の趣旨について話す。
- 校門での「あいさつ運動」を継続する。
- いじめ・不登校対策委員会で情報交換し、対策・解決策を検討する。
- 学校便りやホームページで、「ふれあい月間」趣旨取組を生徒・保護者・地域に周知する。
- スクールカウンセラーによる研修会を実施する。(7月)



そこで「思いやり」について考えてみました。

「相手の立場に立つ」「相手の気持ちになって考える」といった言葉をよく耳にします。しかし、本当に相手の立場になり代わってその気持ちをうかがい知ることは、現実には難しいものです。そこには“こうすれば相手は喜んでくれるはず”という「思い込み」や「思い違い」時には「思い上がり」も含まれているかもしれません。

どれだけ大切に思いやろうとしても、自分の視点から相手の気持ちを押し量るだけでは、どうしても「すれ違い」が生じてしまいます。そういうときこそ「お互いの気持ちや状況をきちんと言葉にして確認し合うこと」が重要になるのではないのでしょうか。

それは、自分の目が届かないところにまで「思いやり」を行き渡らせるためにも、また、お互いが「思いやり」を交わすためにも、必要だと思います。

あいさつの効用

「おはようございます」毎朝、職員の打ち合わせが終わると校門のところへ行き、登校してくる生徒に声をかけます。「おはようございます」と元気な声が返ってくると、心がなごみ、一日の活力をもらった気分になれます。当番で立っている先生方や保護者の方も同じ気持ちになるのではないのでしょうか。

この「おはようございます」は、本校の生徒だけにしているわけではありません。校門の前を通る人にはみな、声をかけています。はじめは、げんな顔をしていた大森高校の生徒も2か月もたつと生徒のほうから「おはようございます」と言ってくれるようになります。人と人との関わりができた実感できるのです。逆に校長会などで他校を訪れて、廊下でその生徒とすれ違ったとき、素通りをされると「えっ！」とがっかりしてしまいます。そこで、こちらから「こんにちは」と声をかけるのです。それでも「こんにちは」が返ってこないこともあります・・・

あいさつは、互いのコミュニケーションを深める一歩目として、大切であることはいままでもないことです。しかも、互いの存在を無意識のうちに認めていることにもつながるのです。だから最も大切なことは、声を出してあいさつをするということです。

自分を取り巻く家族や近所の人に、そして先生や友達に元気でさわやかなあいさつを交わすことが最も大切だということです。誰もが互いにあいさつを交わすことで、清々しい気持ちになったことがあるはずです。また「ありがとう」「すみません」「はい」などという感謝の心や素直な気持ちを表す言葉も挨拶と同様に大切です。これも互いの人間関係をよくしてくれます。あいさつはだれでもすぐに気軽に行うことができるものです。豊かなコミュニケーションを築く第一歩として、みんなであいさつの輪を広げ、元気で笑顔の絶えない学校にしていきたいものです。

「ただいま」と帰ると
「おかえり」と迎えてくれる
我が家は優しく温かい

日本PTA全国協議会

特別支援学級連合移動教室



6月22日(水)から24日(金)の2泊3日で、大田区内の特別支援学級連合移動教室が行われました。本校のI組も16名が参加しました。

1日目は開園式・飯盒炊さん・国立天文台野辺山宇宙電波観測所見学・花火、2日目は残念ながら雨天のため、八ヶ岳自然文化園でプラネタリウム見学・ホールオブホールズでオルゴール鑑賞・キャンドルサービス、3日目は開園式・まきば公園散策という行程を全員が、無事にこなすことができました。

今回の移動教室でI組としての結束を固めるとともに、普段の生活では見ることのできなかつた仲間の良さを発見したり、東京では経験できない体験をしたりして、充実した3日間を過ごし、笑顔いっぱい満足した顔をして、帰ってきました。

大切にしよう 6つの心

- 1 「おはようございます」という明るい心
- 2 「はい」という素直な心
- 3 「すみません」という反省の心
- 4 「わたしがします」という積極的な心
- 5 「ありがとうございます」という感謝の心
- 6 「おかげさまで」という謙虚な心